

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		シニアライフ応援計画				所管	教育委員会 生涯学習課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	136	計画事業名	シニアライフ応援計画			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (1)多様な学習活動の支援 [施 策] ①学習の機会と環境の充実				[事業開始]	平成 20 年度			
						[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕		なし					
	事業対象	直接の対象 : 団塊世代を含む概ね60歳以上のシニア世代を中心とした中高年在住者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	・シニア世代が持つ豊富なキャリアや意欲を地域に活かす。 ・シニア世代の現役を退いた後の生活を、より生きがいのあるものとする。								
	事業内容 [29年度]	シニア世代の方たちの今後に役立ち、交流、生きがいや地域活動に繋がる様々な分野の講座や講演会を、在住在勤のシニア世代を中心とした実行委員会で企画運営し、実施する。 シニアライフ応援計画実行委員会 企画会議 10回 講座実施回数 2回(3日間)								
委託の有無	一部委託	委託内容		一部講座のNPO法人等への委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	講座・講演会等実施回数		回	3	3	3	2	3	66.7%
		実行委員会実施数		回	10	10	10	10	10	100.0%
	成果指標	講座・講演会等参加者数(延べ)		人	90	84	173	64	90	71.1%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				65		148		127
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,604		2,229		1,676
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				6		139		103
		総経費				60		10		25
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				1,670		2,378		1,804	
前回評価から29年度に改善した事項	実行委員が自ら講師を行い、講座を企画・運営していく方法を実施した。全体の参加者数は減少したが、シニアライフ応援計画の趣旨である地域の力を活用し、魅力的な講座を実施できた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	高齢化が進む現代社会において、多くの分野でシニア世代が活躍している。そのシニア世代が生きがいや交流、新たな知識等を得る場所として必要性がある。							
	効率性	3	地域のシニア世代で構成された実行委員会が講座等の企画を考え、事業予算、実行委員の人数等を考慮して、効率よく運営するように事業を進めている。							
	手段の適切性	2	実行委員数が減少傾向にあり、シニア世代の多様な需要に合った内容を提供することが困難な状況にある。							
目的達成度	2	29年度はこれからのシニアライフ応援計画の事業のモデルとなる講座を展開できた一方、受講者のニーズの多様化により申込者が少なく中止となった講座があった。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
「人生100年時代」と言われる現在では多くのシニア世代が就労意向をもつなど、本事業が開始された10年前と比べてシニア世代のニーズが多様化している。事業を実施しつつも、他事業との連携等を含めて検討していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		